

平泉寺フォーラム

2026.11.29 Sun. 13:30

探る！中世平泉寺の麺文化

―「粉食」はどのようにつくられ、食べられたのか？―

芳澤 元 × 桐山 秀穂

明星大学人文学部日本文化学科准教授
トークⅠ「中世寺社の食文化と粉食」

日本考古学協会会員
トークⅡ「考古学からみた石臼と粉食文化」

参加申込はQRコードかまほろばまで

白山平泉寺歴史探遊館まほろば企画展

中世平泉寺の食文化を探る

―平泉寺のもんらは、なに食べてたんかの？―

会期 2026 10.10 Sat. ▶ 12.27 Sun.

白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

〒911-0822 福井県勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12
TEL:0779-87-6001
■ 入館無料・会期中無休　■ 開館時間 9:00～17:00

まほろば 白山平泉寺歴史探遊館

福井・勝山 石がたり

写真は中世平泉寺院・坊跡の発掘調査で出土した石臼

企画展サブタイトルは勝山地域の方言（50～60歳代の方への聞き取り）

平泉寺フォーラム

2026年11月29日(日)
13:30–16:45

白山平泉寺歴史探遊館まほろば

探る！ 中世平泉寺の麺文化

―「粉食」はどのようにつくられ、食べられたのか？―

中世平泉寺ではそうめんが食べられていた！
今回は、中世の食文化の中で、小麦をはじめとする穀類などの粉から、麺や饅頭などに加工して食べる「粉食文化」にスポットをあてます。また、平泉寺の発掘調査で出土する石臼から平泉寺の粉食づくりを考えます。そして、平泉寺のような地方寺社が中心となって、酒・調味料・発酵食など多様な生産技術をもっていたことから、中世寺社が食文化にどのような役割を果たしていたのかについて考えます。中世の食べ物がどんな味だったのか、思いをめぐらせましょう！

トークⅠ「中世寺社の食文化と粉食」
芳澤　元 さん　明星大学人文学部日本文化学科准教授

トークⅡ「考古学からみた石臼と粉食文化」
桐山 秀穂 さん　日本考古学協会会員

レポート「平泉寺出土の食器」
松村 英之　勝山市商工文化課学芸員

フォーラム
パネラー 芳澤元さん、桐山秀穂さん
（進行：松村英之）

平泉寺フォーラムは右記QRコードのウェブサイトか下記の白山平泉寺歴史探遊館まほろばまで参加申込み

国史跡白山平泉寺＆白山平泉寺歴史探遊館まほろばHP



〔会場〕白山平泉寺歴史探遊館まほろば
〒911-0822　福井県勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12
TEL：0779-87-6001　E-mail：mahoroba@city.katsuyama.lg.jp
■入館無料・会期中無休　■開館時間9：00～17：00
〈交通案内〉
電車で：JR福井駅からえちぜん鉄道勝山駅下車、路線バスで20分
車　で：北陸自動車道／福井北IC・JCTから中部縦貫自動車道／勝山IC下車で約15分

まほろば
白山平泉寺歴史探遊館

白山平泉寺歴史探遊館まほろば企画展

中世平泉寺の食文化を探る

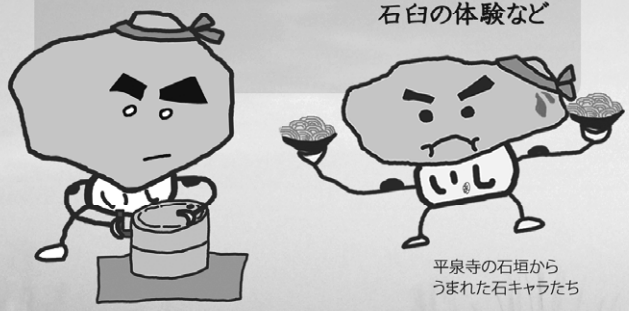
―平泉寺のもんらは、なに食べてたんかの？―

〔 会期 〕2026年10月10日（土）～12月27日（日）

今回の企画展では、「中世宗教都市」でくらす人びとの食生活にスポットをあて、特に「粉食」をつくることに欠かせない石臼について紹介します。また、中世平泉寺の特徴的な出土品（漆器椀、箸、陶磁器碗・皿、調理具など）を展示します。

［関連イベント］ギャラリー・トーク

■ 2026年11月1日（日）・11月21日（土）・12月6日（日）・12月20日（日）・12月27日（日）
■ 時間：いずれも10時～、13時30分～（30分～1時間程度）
■ 勝山市商工文化課学芸員による展示解説
石臼の体験など



平泉寺の石垣からうまれた石キャラたち



勝山市北郷町の麦畑と白山